

都立東大和南公園の防災訓練

南街・桜が丘地域防災協議会本部

2023年02月04日

都立東大和南公園を管理している公益財団法人東京都公園協会の防災訓練が、2月4日以下の通り開催されました。東大和南公園は東京都で22カ所ある大規模救出救助活動拠点に指定されている重要な公園で、東大和市でも、3カ所ある広域避難場所の一つとなっています。

(日時)令和5年2月4日(土) 10時～11時

(場所)東大和南公園

(協力)南街・桜が丘地域防災協議会本部

東大和市総務部防災安全課

(参加者)南街・桜が丘地域住民を中心に、

公園協会職員(東大和南公園サービスセンター)を含め約40名。

★訓練内容

(訓練に先立って)



東大和南公園サービスセンターの前で。



ご挨拶
東大和南公園サービスセンター
センター長 廣井様



訓練概要説明
東大和南公園サービスセンター
副センター長 大塚様

(東大和南公園サービスセンター)

災害救援自動販売機
(災害時に飲料無料提供)
公園内に2カ所



センター内に
AED 1台



デジタルサイネージ
(電子掲示板)

(防災トイレ)(3カ所)



サービスセンター
備品の車いすで。



車いすで入れる誰でもトイレに、
災害時使用のマンホール(便槽を使用)
と用具があります。



(防災あずまや)(1カ所)



テントシートが4つの側面に収納されています。
柱には防災用具も収められています。

(東大和市 防災倉庫)(1カ所)



倉庫内説明
東大和市防災安全課 中村様



東大和市の土地と
都の公園用地との境界線

(ヘリコプター離発着広場)



ヘリは東京消防庁航空隊
多摩航空センター(立川市)
に配備されています。



(防災用照明灯)

ソーラー



(非常用発電機)

ディーゼルエンジンで



燃料の備蓄は3日





**ヘリコプター離発着の可能性のある広場
(大規模救出・救助活動拠点)**

災害時には、ヘリコプターの離発着場所として使用される可能性のある広場です。



防災トイレ (常設)

地下に便槽を持ち、災害時に給水や排水などのインフラが寸断された場合でも利用できるトイレです。災害時には、蓋を開けて使用します。



防災あずまや

災害時には、側面の幕を下ろし、避難スペース等として使用します。



災害救援自動販売機

災害時、一定の条件が満たされた時に飲料を無償提供する機能が備わった自動販売機です。



広域避難場所表示灯



防災用照明灯 (ソーラー照明灯)



緊急車両出入口



AED

サービスセンター内に保管しています。



公衆電話



避難誘導灯



サービスセンター



非常用発電機

サービスセンターが震災対応をするために必要な電源を確保する設備です。



東京都公園協会ホームページ「防災公園を知ろう」
URL: <https://www.tokyo-park.or.jp/special/bousai/>

防災トイレ(常設)		防災あずまや	災害救援自動販売機	AED
箇所数	穴数	基	箇所数	台数
3	3	1	2	1

あたしたちの防災力

東大和南公園



都立公園の多くは、発災時には避難場所や、救出・救助部隊のヘリコプターが離発着する広域防災拠点としての役割を果たします。

その中でも、区部・多摩地域において大きな被害が想定される地域に近接し、自衛隊をはじめとする救出・救助部隊のヘリポートやベースキャンプなどの活動スペースの確保が可能な都立公園が「大規模救出・救助活動拠点候補地」に指定されています。

これらの公園は、発災時に自衛隊、消防、警察等の広域支援・救助部隊が、被災者の救出及び救助活動を行う拠点として活用できるよう整備されています。

(公財)東京都公園協会は、東京都や地元区市等と連携し、これら防災上重要な役割をもつ公園の機能を十分発揮できるよう日頃から防災対応力の向上に取り組んでいます。



公益財団法人東京都公園協会

以上